



[事務連絡]

令和4年2月15日

ご担当者様

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9
公益社団法人畜産技術協会
(TEL)03-3836-2301(代)
管理部企画課 渡邊 里菜

畜産・酪農生産力強化総合対策事業 繁殖性等向上対策事業
「OPU-IVFによるウシ胚生産における技術者研修」開催案内の送付先について

日頃より、本事業の推進にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

この度、別添開催要領によりご案内させていただいております標記研修会につきましては、当協会が出版している「2020年度全国畜産関係者名簿」に掲載されている各都府県内の

- ① 県畜産試験場、育成牧場等の畜産関係試験研究機関
- ② 家畜保健衛生所
- ③ 県農林事務所、農業改良普及所
- ④ 畜産協会、畜産振興協会
- ⑤ 県獣医師会
- ⑥ JA、畜産専門農協、農協連、農業共済組合等

以上の場所に開催案内を郵送しています。(出張所や支部などにも個別に郵送しています。)
もし、ご不明な点があれば当協会までお問合せ願います。

各 位

公益社団法人 畜産技術協会
会 長 石 原 哲 雄
〔公 印 省 略〕

『OPU-IVF によるウシ胚生産における技術者研修』の開催について

時下ますますご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃から当協会の事業の実施につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、令和 3 年度畜産・酪農収益力強化総合対策基金等事業 畜産・酪農生産力強化対策事業 繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕を実施しており、その中で先進的または高度な畜産技術を活用して地域の課題を解決できる畜産技術者を養成するため、繁殖性向上に係る技術を有し、研修会等の開催が可能な専門機関に協力を要請し、地域のニーズに即して行う実践的な研修会を別紙開催要領により開催することとなりました。

つきましては、ご多用中誠に恐縮ですが、研修会の趣旨をご理解いただき、関係者にご案内していただきますようお願い申し上げます。

また、標記研修会への参加のご希望がございましたら、2 月 28 日(月)までに当協会までお申込み下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 : 令和 4 年 3 月 4 日(金) 9:00~17:00 (8:30~受付)
- 2 場 所 : 酪農学園大学動物医療センター
(オンライン/OPU の実技講習をライブ配信します)
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582 番地
- 3 内 容 : 別添開催要領のとおり

問 合 先

公益社団法人 畜産技術協会
〒113-0034 東京都文京区湯島 3-20-9
TEL : 03-3836-2301
E-mail : oubo@jlta.jp

担当者 : 管理部 企画課 渡邊

令和3年度畜産・酪農生産力強化対策事業(令和2年度補正)
繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕

『OPU-IVFによるウシ胚生産における技術者研修』

於：酪農学園大学からオンラインによるライブ配信

開 催 要 領

1 目 的

近年急速に普及しつつある生体内卵子吸引-体外受精(OPU-IVF)によるウシ胚生産技術の更なる普及を目標に、OPU未経験者から実施者までを対象に、オンラインによる研修会を開催します。

OPU-IVFの理論と、国内外における現状の普及状況を身につけ、次いで超音波診断装置及び体外生殖器を用いた実習により、基本的な卵巣の観察方法に加え、卵巣及びOPUプローブの操作を習得し、更に生体を用いたOPUでは、実際の手技を観察することで、より深く技術の論理の習得を図るとともに、採取した卵子の検索、体外成熟培養、体外受精及び体外培養の要点を中心に、OPUをサポートする技術力の向上が図られることを目的に本研修会を開催します。なお、日常業務における疑問点や繁殖に関連する新技術などへの質問にもお答えする予定にしていますので、是非ご参加ください。

2 主 催 公益社団法人 畜産技術協会

3 開催日時及び場所

- (1) 日 時 令和4年3月4日(金) 9:00～17:00 (8:30～受付)
- (2) 場 所 オンライン(酪農学園大学動物医療センターからライブ配信を行います)

4 研修内容

- (1) OPU-IVFによる胚生産技術の理論と現状(講義)
- (2) と体外生殖器を用いたOPU技術の習得(実習)
- (3) 生体からのOPUの実施方法(実習)
- (4) OPU後の体外受精関連技術(実習)

5 講 師 (順不同)

- (1) 今井 敬 氏(酪農学園大学農食環境学群循環農学類 動物生殖工学研究室 教授)
- (2) 杉浦 智親 氏(酪農学園大学 獣医学部獣医学類 動物生殖学ユニット 助教)

6 募集要項 オンライン:30名(初・中級) 先着30名に達し次第締切

- (1) 全国でウシの繁殖業務に携わっている獣医師・家畜人工授精師
- (2) 受講後アンケート(閉会式時)及び受講から1年後にアンケートにご回答いただける方
- (3) 受講後営利目的なしに地域で指導できる方

7 参加費用 無料(受講のために必要なWEB費用等は受講生が各々負担するものとする)

8 参加申込 令和4年2月28日(月)先着30名まで

- (1) 受講をご希望の方は、別紙「研修会申込書」に必要事項をご記入の上、E-mail(申込書Wordをメールに添付)で事務局あて事前申し込みをお願いします(FAX不可、当日参加不可)。
- (2) 締め切り後、選考ののちメールにて受講の諾否及び動画配信URLを通知いたしますので、受信用メールアドレスを必ずご記入ください。

※メールアドレスの記載不備等により、選考結果等のメールが送信できない事例が多発しております。

恐れ入りますが、申し込みご本人様よりリターンメールが受け取れるメールからの送信をお願いします。

9 申 込 先 公益社団法人 畜産技術協会 担当：管理部 企画課 渡邊

TEL: 03-3836-2301 E-mail: oubo@jlta.jp

タイムスケジュール

【令和4年3月4日(金)】

時間	項目及び内容	場所
8:30～	受付	オンライン(終日)
9:00～ 9:10	開会式 全体説明	
9:10～11:00	OPU-IVFによる胚生産技術の理論と現状(講義) 今井 敬 教授(酪農学園大学)	
11:00～12:00	と体生殖器官を用いた OPU 技術の習得(実習) 今井 敬 教授	
12:00～13:00	昼休憩	
13:00～15:00	生体からの OPU の実施方法(実習) 杉浦 智親 助教(酪農学園大学)	
15:00～17:00	OPU 後の体外受精関連技術(実習) 今井 敬 教授	
17:00～17:30	閉会式 アンケート記入及び回収	

※ 時間と内容は多少変更になる場合があります

※ 連絡先 酪農学園大学農食環境学群循環農学類 動物生殖工学研究室 担当 今井 ☎ 011-388-4601

【注意!!】

新型コロナウイルスなどの感染が拡大した場合、本研修会をやむを得ず中止する場合があります。その際は、受講決定者に対して個別に申請していただいた E-mail アドレスに、ご連絡します。

【協会からのお知らせ】

研修会開催要領、参加申込書につきましては、当協会ホームページでもダウンロードが可能です。

また、今後の研修会につきましても、ホームページで随時更新予定です。

公益社団法人 畜産技術協会 HP : <http://jlta.lin.gr.jp/> News&Topics をご確認ください。

皆さまのご参加をお待ちしています！

令和3年度畜産・酪農生産力強化対策事業(令和2年度補正)
繁殖性等向上対策事業〔技術力向上のための研修(畜産技術者の養成)〕

『OPU-IVFによるウシ胚生産における技術者研修』

於：酪農学園大学からオンラインによるライブ配信

参加申込書

⇒ 申込先 E-mail : oubo@jlta.jp 公益社団法人 畜産技術協会 宛

★ 参加ご希望の方は、必要事項を下記にご記入の上、お申込みください。

★ 申込締切日 令和4年2月28日(月) 先着30名まで

所属				役職	
氏名			ふりがな		
年齢	才	繁殖関連業務	OPU-IVF	年	
		実務経験年数	ECO 診断	年	
現在の業務内容					
住所	〒 [所属先の場合は、郵便物が届く部署名もお書き添えください。]				
TEL			携帯 TEL		
E-mail					
その他 (普段の業務で困っていること、本研修会で習得したことなど)					

以下、該当項目に○を付けてください

資格について	獣医師	家畜人工授精師	胚培養師	なし
--------	-----	---------	------	----

★ 緊急時に連絡が取れる携帯電話番号を必ずご記入ください。

★ 受講者の選考では、「現在の業務内容」等を参考にいたしますので、必ずご記入ください。

★ 選考結果については、後日メールで連絡いたしますので、受信用メールアドレスを必ずご記入ください。(FAXでの受付は行いません)

★ 申込書にご記載いただいた個人情報は本事業のみで使用し、第三者に提供することはありません。